

特色ある取り組み 国際交流留学生プラザ

パブリックアート

1階 | ◆◆ 陶板 ◆◆ 「3つの色とわたしの夢」

現代美術家の日比野克彦氏(東京藝術大学教授)が本学附属小学校・中学校の児童・生徒980人と共にワークショップを行い制作した陶板が設置されました。

一人一人がプレートにテーマに沿って選んだそれぞれの3つの色と自分の夢を描きました。2940の色が互いに共鳴し合っ、みんなの色の中に包まれたみんなの980の夢を応援しています。



附属学校の生徒によるワークショップの様子

2階 | ◆◆ 陶板 ◆◆ 「レッツ3つの色」

現代美術家の日比野克彦氏(東京藝術大学教授)が企画制作した参加型のパブリックアートが設置されました。本学附属小・中学校の児童・生徒と行なったワークショップをあなたも体験することができます。言葉になる前のイメージの世界を色を頼りに辿ってみながら、自分の中にある夢のようなものを視覚化してみませんか…。そしてここはここに訪れた人たちの夢のようなものとも出会うことができる場所です。



日比野先生作品の制作の様子

3階 | ◆◆ 金属彫刻 ◆◆ 「シュプリンゲン <世界に向かって>」

金工作家の宮田亮平氏(東京藝術大学名誉教授)による金属彫刻が、3階屋上庭園に設置され、館内からも館外からも鑑賞することができます。この学び舎から大きく羽ばたく若人達の姿を、宮田先生のモチーフであるイルカに託して、若人達が全世界に発進し新たな歴史を創ってくれることを祈念して制作されました。



制作工程の様子(宮田先生ご本人です)



「夜櫻」(大学本館内)



「枝垂れ山櫻」(大学本館内)

◆◆ ステンドグラス ◆◆ 「櫻花爛漫」

日本画家の中島千波氏(東京藝術大学名誉教授)の原画によるステンドグラスで、爛漫と咲く桜に虹が架かる情景は、大空の七色の虹の橋を世界の若人たちが渡り、「希望」と「平和」が未来永劫手を繋ぐ場所になる事を願った作品が commons 2 に設置されました。なお、大学本館内にも桜をモチーフにしたステンドグラス「枝垂れ山櫻」「夜櫻」が設置され、館内に優しい光を届けています。

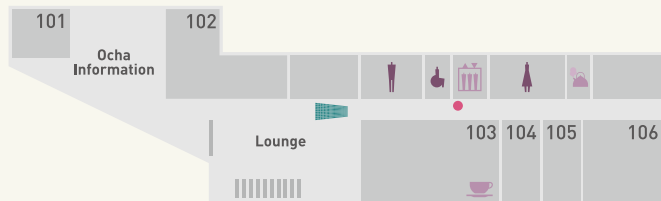


ステンドグラス「櫻花爛漫」制作の様子

floor guide

1階 ~知る・憩う~

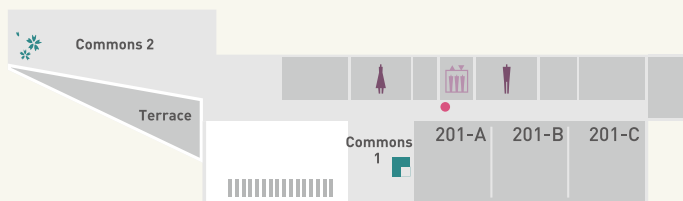
Ochaインフォメーションや歴史資料館に加えて、留学生の交流拠点となる国際教育センターやラウンジ、一般の方もご利用いただけるカフェ、また作楽会(附属高等学校の同窓会)事務局と会議室、3同窓会(鏡影会(附属中学校の同窓会)、茗鏡会(附属小学校の同窓会)、ちぐさ会(附属幼稚園の同窓会)共通の事務局)があり、様々な交流が生まれる空間です。



- 101 歴史資料館
- 102 国際教育センター
- 103 カフェ
- 104 3同窓会事務局
- 105 作楽会事務局
- 106 作楽会会議室

2階 ~集う~

最大で120人が収容できる多目的ホールや、交流会や発表会を行うことができるcommonsがあり、学内外の行事やイベントで多くの人々が訪れる空間です。



- 201-A 多目的ホールA
- 201-B 多目的ホールB
- 201-C 多目的ホールC

国際交流留学生プラザ 建設について

【目的】3つの交流・集い:国際、地域、世代(学生・生徒・児童、卒業生) 【主な建設資金】未来開拓基金へのご寄附(滝久雄氏ご夫妻をはじめ、ザ / 英語名:Hisao & Hiroko TAKI PLAZA 【建物概要】建物用途:大学施設 / 建物構造:鉄骨造・地上4階建て / 延床面積:2335.04㎡ オープン 【施工会社】清水建設(株) 【工事監理】隈研吾建築都市設計事務所、お茶の水女子大学施設課 【パブリックアート】作家…ステーク彦氏(東京藝術大学教授)、企画…公益財団法人日本交通文化協会

(Hisao & Hiroko TAKI PLAZA)

完成



カフェ

SEATTLE ESPRESS CAFE (シアトルエスプレスカフェ)がオープン

シアトルスタイルのカフェラテや、カプチーノをはじめ親しみやすいドリンクメニューが揃い、手づくりのピザやパニーニ、デザートなど、バリエーション豊かなアイテムがリーズナブルプライスで味わえます。解放的な空間で、学内外問わず気軽に過ごすことのできるカフェが新たに誕生しました。



コモンズ2

建設の 経緯・目的

国際交流留学生プラザ

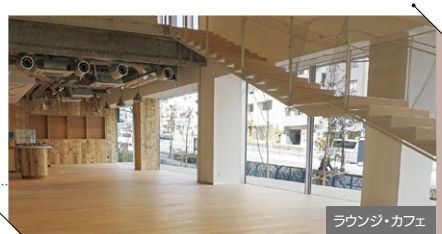


至大学正門

本プラザは、国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として建設されました。

建設にあたり、未来開拓基金への滝久雄(株式会社ぐるなび創業者、本学学長特別顧問)・裕子御夫妻や同窓生からのご寄附をはじめとして、教職員・在校生を含む多くの方々からのご支援を頂きました。設計は、隈研吾建築都市設計事務所により、自然豊かなキャンパスとの調和を図りながら進められました。各階にはパブリックアートが設置され、ここに集う皆様に快適に過ごしていただける空間となりました。

本施設には、同窓会コモンズ(大学および附属学校園の5同窓会の集いの場)も併設されており、お茶の水女子大学の新たなシンボルとして、多くの方々にご利用していただくことが期待されます。

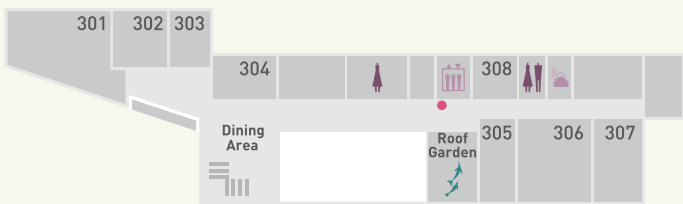


ラウンジ・カフェ



3階 ～学ぶ～

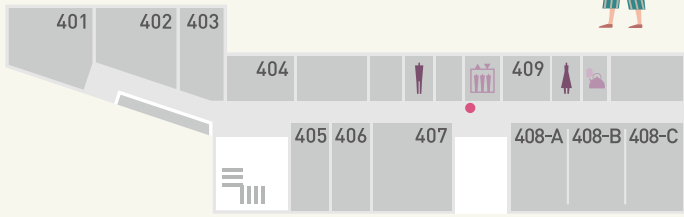
海外と時差を超えた学びの交流ができるよう最新のテレビ会議システムを備えたセミナー室や、日本文化教室などを開催できる和室の研修室のほか、キッチン・ダイニングエリアを配置しています。桜蔭会(大学の同窓会)の事務室などの施設もあり、多様な交流が促進される空間です。



- 301 セミナー室
- 302 研修室2
- 303 研修室1
- 304 キッチン
- 305 桜蔭会会議室A
- 306 桜蔭会会議室B,C
- 307 桜蔭会事務室1
- 308 桜蔭会事務室2

4階 ～泊まる～

研究・社会連携のための施設、同窓会の共用室(会議室)のほか、国内外のゲスト等のためのキャンパスを眺められる宿泊室(シングル・ダブル)があり、多様な連携が推進される空間です。



- 401-404 宿泊室
- 407 学会事務室
- 408-A 同窓会共用室A
- 408-B 同窓会共用室B
- 408-C 同窓会共用室C
- 409 同窓会共用室D

特色ある取り組み

同窓生、在校生、教職員など 【設計者】隈研吾建築都市設計事務所 【建物名】日本語:国際交流留学生プラザ / 大学施設:1754.40㎡ / 同窓会施設(同窓会コモンズ):580.64㎡ / 2018年5月着工、2019年3月完成・ドグラス:中島千波氏(東京藝術大学名誉教授) 金属彫刻:宮田亮平氏(東京藝術大学名誉教授) 陶板:日比野